

国のホームページ約 6 割（約 76 万ページ）が
障害者・高齢者配慮の JIS 規格最低基準を満たさず

- ウェブアクセシビリティの全ページ調査結果を発表【国（府省庁等）】 -

<http://www.a-brain.com/news/2013/20130620.html>

【プレスリリース】 報道関係者各位

2013 年 6 月 20 日

アライド・ブレインズ株式会社

アライド・ブレインズ株式会社（東京都千代田区、代表取締役：大野勝利、以下、アライド・ブレインズ）は、この度、国（府省庁、国会、裁判所等）のホームページ 50 サイトの全ページを対象に、高齢者・障害者のホームページ利用への配慮（ウェブアクセシビリティ）に関する JIS 規格（JIS X 8341-3:2010）への対応状況を調査しました。

本調査で、国のホームページの約 6 割に、JIS 規格で最低限遵守すべき「達成等級 A」の問題が確認されました。

本調査は、本日結果を発表した国（府省庁、国会、裁判所等）のほか、都道府県、政令市、政党のホームページを対象に実施しており、今後順次結果を発表してまいります。

また、本調査結果の詳細、国内外の最新動向、公共機関に求められる取組みを、公共機関ホームページ担当者向けに解説するセミナーを 7 月 5 日に東京で開催いたします。

- [第 30 回 A.A.O.セミナー「国内外のアクセシビリティ動向と公共機関に求められる JIS 対応」2013 年 7 月 5 日（金曜）](#)

(<http://www.aao.ne.jp/seminar/2013/aao30/index.html>)

●調査の背景

ウェブアクセシビリティとは「高齢者や障害者といった、ホームページ等の利用になんらかの制約があったり利用に不慣れな人々を含めて、誰もがホームページ等で提供される情報や機能を支障なく利用できること」を意味します。2011 年 4 月に、総務省より「みんなの公共サイト運用モデル（2010 年度改定版）」が公開され、国及び地方公共団体は 2013 年度末までに JIS 規格の達成等級 A、2014 年度末までに達成等級 AA へ準拠することが求められています。

国内では、2006 年 12 月に国連総会で採択された障害者権利条約を批准するために、障害者基本計画の改定検討が進められており、昨日（2013 年 6 月 19 日）には障害者差別解消法が国会で可決、成立するなど、関連する法制度整備の取組みが行われています。

●総務省チェックツールの基準で公開されている全ページを調査

本調査は、弊社が開発した「全ページ JIS 検証プログラム Aion（アイオン）」を用い、

50 サイトの公開されている全ページを対象に、JIS 規格対応を調査しました。

Aion は、総務省が開発し広く一般に無償提供している JIS 規格対応検証ツール miChecker（エムアイチェッカー）と同じチェック項目と基準で、公開されている全ページを一括で検証するものです。

●調査結果概要

本調査では、50 の府省等サイトの合計 1,210,167 ページのうち 762,252 ページ (62.99%) で JIS 規格の達成等級 A の対応に問題があることが確認されました。

また、個別のサイトについては、20 の府省等サイトで、達成等級 A に問題のあるページが 1 万ページ以上あることが確認されました。問題のある割合は、最も少なかったサイトで 3.54%（113 ページ中 4 ページ）、最も多かった 2 サイトで 100.00%（サイト 1：26,893 ページ中 26,892 ページ、サイト 2：11 ページ中 11 ページ）でした。（表 1 参照）

表 1：団体別の達成等級 A に問題があるページの割合（問題の割合が少ない順）

No.	団体名	公開されている全ページのうち、 等級 A に問題のあるページの割合
1	国家公務員制度改革推進本部事務局	3.54%
2	公害等調整委員会	5.61%
3	内閣府	6.66%
4	裁判官訴追委員会	10.00%
5	公安調査庁	12.69%
6	会計検査院	13.30%
7	内閣法制局	15.42%
8	中央労働委員会	16.12%
9	裁判官弾劾裁判所	20.35%
10	観光庁	30.06%
11	公正取引委員会	30.67%
12	地方自治情報センター(LASDEC)	31.52%
13	総務省	31.53%
14	宮内庁	33.26%
15	国税庁	37.78%
16	文化庁	38.04%
17	文部科学省	38.35%
18	外務省	41.81%

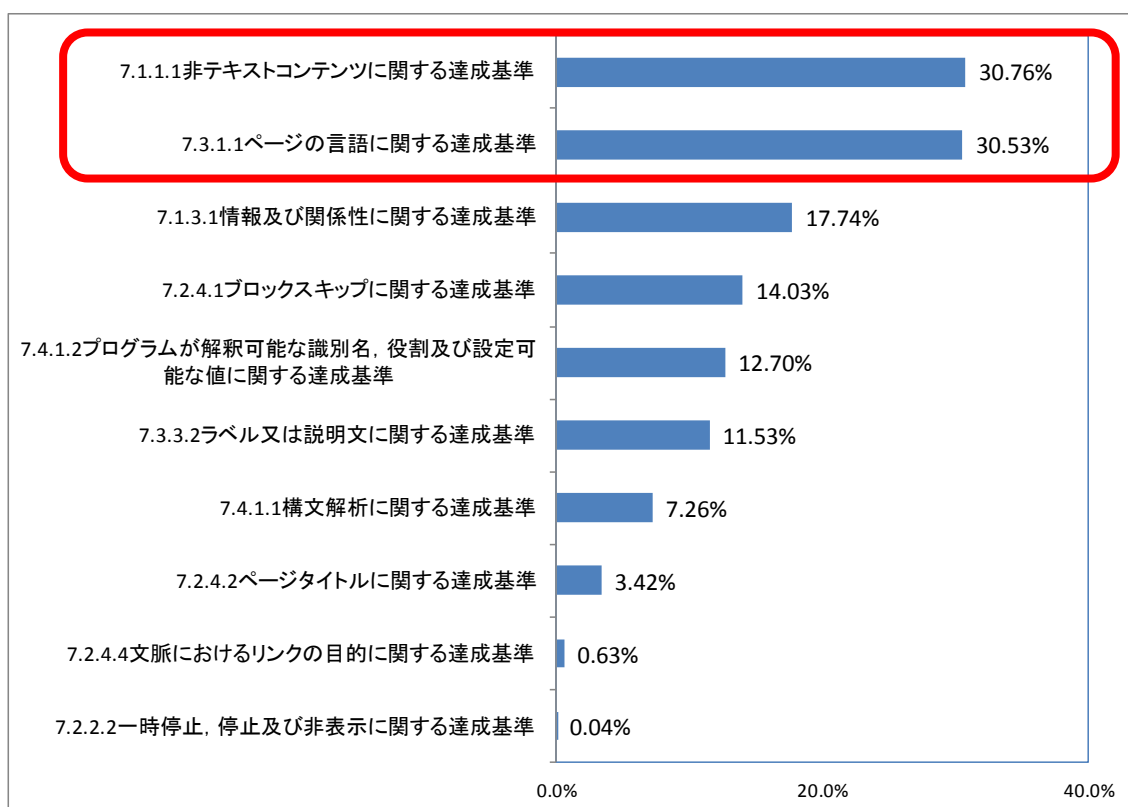
No.	団体名	公開されている全ページのうち、 等級 A に問題のあるページの割合
19	国立国会図書館	42.66%
20	金融庁	42.72%
21	財務省	43.13%
22	資源エネルギー庁	45.09%
23	経済産業省	46.42%
24	衆議院	52.37%
25	農林水産省	59.99%
26	中小企業庁	65.21%
27	内閣官房	67.81%
28	原子力規制委員会	70.12%
29	法務省	74.76%
30	国土交通省	79.22%
31	厚生労働省	81.66%
32	防衛省	84.13%
33	海上保安庁	85.18%
34	参議院	85.66%
35	消費者庁	88.37%
36	消防庁	89.08%
37	警察庁	89.70%
38	検察庁	90.49%
39	復興庁	91.83%
40	特許庁	92.31%
41	気象庁	94.03%
42	首相官邸	96.70%
43	人事院	97.12%
44	国家公安委員会	97.32%
45	裁判所	98.90%
46	日本銀行	98.98%
47	運輸安全委員会	99.87%
48	水産庁	99.98%
49	公安審査委員会	100.00%
50	林野庁	100.00%

また、達成等級 A に該当する 25 の達成基準の中で、特に「問題あり」のページの割合が高かったのは、以下 2 つの達成基準でした。(図 1 参照)

- ・ 「7.1.1.1 非テキストコンテンツに関する達成基準」(30.76%のページで達成等級 A に問題)
 - 具体的な問題の例：音声読み上げソフトの利用者に画像の内容を伝えるための「代替テキスト」がない等。
- ・ 「7.3.1.1 ページの言語に関する達成基準」(30.53%のページで達成等級 A に問題)
 - 具体的な問題の例：ページ内で主に使用している言語（日本語、英語など）の指定がない。（音声読み上げソフトが正しく読み上げたり、ブラウザが正しく表示できるようにするために指定することが求められている）

総務省「みんなの公共サイト運用モデル（2010 年度改定版）」では、各公共機関が自団体ホームページの現状や運用の事情を踏まえ改善計画を立案し実行することが求められています。弊社では、本調査により各公共機関公式ホームページで公開されている全ページの JIS 対応状況を明らかにし、結果の公表、解説セミナーの実施等を通じて、公共機関ホームページのウェブアクセシビリティ向上に貢献してまいります。

図 1：達成等級 A の達成基準別「問題あり」のページ割合
(問題の多い達成基準上位 10 位)



●調査概要

1. 調査対象

e-Gov（イーガブ）の下記ページに掲載の 50 団体の公式ホームページ。

- ・ 「各府省・独立行政法人等のホームページ」

<http://www.e-gov.go.jp/link/index.html>

- ・ 「国会・裁判所等関連サイト」

<http://www.e-gov.go.jp/link/ministry/government.html>

※各団体名からリンクしているページに掲載されている地方支部局や独立行政法人等の関連サイトは対象外

【対象 50 団体（e-Gov での掲載順）】

首相官邸、内閣官房、内閣法制局、国家公務員制度改革推進本部事務局、人事院、内閣府、宮内庁、公正取引委員会、国家公安委員会、警察庁、金融庁、消費者庁、復興庁、総務省、公害等調整委員会、消防庁、法務省、検察庁、公安審査委員会、公安調査庁、外務省、財務省、国税庁、文部科学省、文化庁、厚生労働省、中央労働委員会、農林水産省、林野庁、水産庁、経済産業省、資源エネルギー庁、特許庁、中小企業庁、国土交通省、観光庁、気象庁、運輸安全委員会、海上保安庁、原子力規制委員会、防衛省、会計検査院、衆議院、参議院、裁判官弾劾裁判所、裁判官訴追委員会、国立国会図書館、裁判所、日本銀行、地方自治情報センター（LASDEC）

※調査期間内に調査が完了しなかった環境省を除く。

2. 調査期間

2013 年 4 月 26 日～5 月 24 日

3. 調査方法

アライド・ブレインズが開発した「全ページ JIS 検証プログラム Aion（アイオン）」を用い、50 サイトの公開されている全ページを対象に、JIS 規格対応を調査した。

Aion は、総務省が開発し広く一般に無償提供している JIS 規格対応検証ツール miChecker（エムアイチェッカー）のチェック項目と基準により、公開されている全ページを一括で検証するもの。

なお、本調査は miChecker の基準により、明らかな問題があると特定された箇所について集計を行った。

【ウェブアクセシビリティについて】

高齢者や障害者といった、ホームページ等の利用になんらかの制約があったり利用に不慣れな人々を含めて、誰もがホームページ等で提供される情報や機能を支障なく利用できること。ウェブアクセシビリティ配慮の基準である JIS X 8341-3:2010 が 2010 年 8 月に改正公示された。特に、官公庁や自治体をはじめとする公的機関のホームページは、総務省が 2011 年 4 月に発表した「みんなの公共サイト運用モデル」に示された期限を目安に、JIS X 8341-3:2010 に対応することが求められている。

【JIS の達成等級・達成基準について】

- ・ 達成等級：JIS X 8341-3:2010 に設けられた、ウェブアクセシビリティ対応の程度を示したもの。最低限の要求事項である等級 A、その上位の等級 AA、等級 AAA の三段階が用意されている。
- ・ 達成基準：ページの作成において対応すべき個別的な要件を規定したもの。61 項目あり、各項目は等級 A、等級 AA、等級 AAA のいずれかに対応している。

【総務省「miChecker」について】

総務省が開発し広く一般に無償提供しているアクセシビリティチェックツール。1 ページずつ検証を行う。

- 総務省「miChecker」

http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/b_free/miChecker_download.html

【Aion について】

公共機関のウェブアクセシビリティ検証のために総務省が開発し提供しているアクセシビリティチェックツール「miChecker(エムアイチェッカー)」のチェック項目と基準に基づき、ホームページの全ページを一括して検証するプログラム。



。総務省の公開する miChecker のソースコードを活用しアライド・ブレインズが開発。

- 全ページ JIS 検証プログラム Aion

<http://www.aao.ne.jp/aion/>

【アライド・ブレインズ株式会社について】

調査・コンサルティングファーム。ウェブサイトの品質確保・向上に関し、総務省推進プロジェクト支援、官公庁・自治体・企業のコンサルティングなど多数の実績がある。

2004 年 7 月「Web アクセシビリティ JIS 規格完全ガイド」、2010 年 11 月「Web アクセシ

「ウェブアクセシビリティ完全ガイド」を日経 BP 社より刊行。JIS X 8341-3 検討委員。ウェブアクセシビリティ基盤委員会 WG1 及び WG3 委員。総務省より委託を受け「みんなの公共サイト運用モデル」検討支援を担当。

- アライド・ブレインズ株式会社

<http://www.a-brain.com/>

【A.A.O.について】

自社運営のウェブサイト为核心にした、提供者と利用者のための公共機関ウェブサイト品質向上支援プロジェクト。サイト及びメールマガジン、セミナーを通じ、関連情報や支援ツール、改善支援サービスなどを提供している。

公共機関サイト支援プロジェクト

The logo for A.A.O. consists of the letters 'A.A.O.' in a large, bold, red, sans-serif font. The letters are slightly shadowed, giving them a 3D appearance. Above the letters, the text '公共機関サイト支援プロジェクト' is written in a smaller, black, sans-serif font.

- A.A.O.

<http://www.aao.ne.jp/>

本プレスリリースに関するお問い合わせ

アライド・ブレインズ株式会社 担当：米田、大久保

Tel : 03-3261-7431 Fax : 03-3261-7432 e-mail : office@aa0.ne.jp

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-6-8 トミービル 3 2 階